

GSJ 地質ニュース

GSJ CHISHITSU NEWS

— 地球をよく知り、地球と共生する —

2016

6

Vol. 5 No.6



平成 28 年 (2016 年) 熊本地震及び関連情報【続報】

6月号

口絵 169-178

平成 28 年(2016 年)熊本地震及び関連情報

「第四報」緊急現地調査報告 [2016 年 5 月 13 日]
2016 年熊本地震に伴って出現した地表地震断層

地質調査総合センター

中央構造線に関する現在の知見 —九州には中央構造線はない—

斎藤 眞・宮崎一博

口絵 179-180

2015 年夏の地質調査総合センター アウトリーチ活動報告

川辺禎久・斎藤 眞・吉田清香・高橋雅紀・兼子尚知
高木哲一・堀川晴央・佐藤大介・田中伸一・芝原暁彦

181-192

E. ナウマン著「日本列島とその住民」邦訳

山田直利・矢島道子

193-196

「地質情報展 2015 ながの」開催報告

川辺禎久・斎藤 眞・吉田清香・川畑 晶・清水 恵

197-199

岩石破壊実験 —地質情報展 2015 ながの—

佐藤隆司・高橋美紀・高橋 誠

200 受賞・表彰「平成 28 年度 科学技術分野文部科学
大臣表彰創意工夫功労者賞を受賞」

Cover Page



Fresh green of the Tokachi-mitsumata Basin overlooking from
Mikuni Pass, central Hokkaido.

(Photograph and caption by Futoshi NANAYAMA)

三国峠から見渡した新緑の十勝三股盆地

北海道中央部に位置する十勝三股盆地は、約 100 万年前に噴火したカルデラ火山であったことが、最近判明した。当時噴出した大規模火砕流は北東の留辺蘂方向、ならびに南西の屈足方向、南東の芽登方面の二手に分かれて十勝平野に流れ下ったことが知られ、さらに一部は日高山脈北東麓の御影にまで達しているとされる。その後しばらくはカルデラ湖として存在していたが、現在は樹海に覆われて、その当時の面影はない。盆地の背後に見える特異な形状の溶岩ドームが軍艦山で、その背後に連なるニペソツ山は、その後の火山活動で生じた。左手奥のウペペサンケ山は、約 460 万年前に噴出した溶結凝灰岩の岩体である。

(写真・文：七山 太 / 産総研 地質調査総合センター 地質情報研究部門)